

令和4年度下半期財政の状況

(令和4年10月1日～5年3月31日)

市民の皆さんが納めた税金の使いみちと市の財政状況を、毎年2回公表しています。

今回は、4年度に実施した主な事業と、年度末における一般会計・特別会計の歳入・歳出予算の執行状況などをお知らせします。企業会計(水道事業・下水道事業)は「広報あきしま」7月1日号でお知らせします。

なお、数値はすべて5年3月31日現在のものです。4年度の歳入・歳出の執行額は5月31日に確定するため、実際の決算額とは異なります。

一般会計

一般会計は、市税を主な財源とし、教育や福祉、小・中学校や公共施設の維持・管理、道路の整備やごみ処理など、行政を運営する経費の大部分を賄う会計です。

4年度の予算現額は、535億

3278万円です。執行状況は図1のとおりで、歳入では収入率が95.0%、歳出では執行率が85.3%となっています。

新型コロナウイルス感染症と物価高騰への主な取り組み

新型コロナウイルスの接種体制を整備し、接種を推進しました。また、物価高騰などによる負担を軽減するため、水道料金・下水道使用料の基本料金の減免を行いました。

総合基本計画における施策の大綱ごとの主な取り組み

◎安全で安心して住み続けられるまち
防災行政無線のデジタル化に向け、受信装置などの整備を行いました。

◎互いに支え合い、尊重し合うまち
市民総合交流拠点施設を整備

するため、基本設計を行い、これをもとに実施設計に着手しました。

◎未来を担う子どもたちが育つまち
待機児童を解消するため、保育施設の改築工事や認定こども園の新築工事への補助を行いました。

◎文化芸術、スポーツの振興を図るまち
FOSTERホール(市民会館・公民館の舞台設備や総合スポーツセンターの外壁などの改修工事を実施しました。



▲総合スポーツセンター

◎環境負荷を低減し、水と緑の自然環境を守るまち
脱炭素化に向けて、公共施設の照明器具や街路灯などのLED化を進めました。

◎生活を支え、活力を生み出すまち
落ち込んだ消費の早期回復を図るため、昭島市商工会のプレミアム付商品券事業への補助を行いました。

積立基金(貯金)

積立基金は、家計という貯金のことです。財源が不足する場合や、将来計画している事業のために積み立てている資金で、金融機関への預金などで運用しています。

現在高は表1のとおりです。

市有財産

市が保有する土地や建物などの財産は図2のとおりです。

市債(借金)

市債は、家計という借金のことです。小・中学校や道路・公園などの公共施設は、長期的に利用するものであり、整備・改修には一時的に多額の資金が必要で、

その資金を将来の市民の皆さんにも公平に負担していただくという考えで、借り入れを行っています。

現在高は表2のとおりです。

図2 市有財産	
土地	58万6853㎡ (学校・公園など)
建物	22万2490㎡ (学校・市庁舎など)
出資による権利	1億2294万円 (昭島市育英会など)

表1 積立基金(貯金)		現在高
一般会計	財政調整基金	78億5527万円
	特定目的基金	90億6394万円
特別会計		12億4582万円
合計		181億6503万円

※財政調整基金＝財源の不足に備えるための基金(家計でいう貯金など)
※特定目的基金＝公共施設整備など特定の目的のための基金(家計でいう学資保険や住宅購入資金積立など)

表2 市債(借金)		現在高 (元金の残高)
一般会計	建設事業債	68億7981万円
	災害復旧債	4619万円
	特例地方債	92億3179万円
合計		161億5779万円

※建設事業債＝学校・道路・公園などの公共施設の整備・改修のための借入金
※災害復旧債＝自然災害により被災した公共施設の復旧のための借入金
※特例地方債＝財源の不足を補うための借入金

図3 市民1人当たり・1世帯当たりの市税負担額、市民サービス費用、貯金、借金	
5年3月31日現在の市税収入額、一般会計の支出額、積立基金現在高、市債現在高を人口と世帯数で割ったものです。	
【市民1人当たり】	【1世帯当たり】
17万7700円	市税負担額 35万9912円
39万9645円	市民サービス費用 80万9441円
15万8953円	貯金 32万1944円
14万1389円	借金 28万6369円

※5年3月31日現在の人口は11万4279人、世帯数は5万6423世帯です。

表3 4年度特別会計 歳入・歳出予算の執行状況

会計名	予算現額	収入済額(収入率)	支出済額(執行率)
国民健康保険	125億1454万円	117億5761万円(94.0%)	115億5750万円(92.4%)
介護保険	106億3026万円	99億7245万円(93.8%)	89億459万円(83.8%)
後期高齢者医療	29億2899万円	29億192万円(99.1%)	28億9677万円(98.9%)
中神土地区画整理事業	7億3752万円	3億8531万円(52.2%)	2億8103万円(38.1%)
合計	268億1131万円	250億1729万円(93.3%)	236億3989万円(88.2%)



☆詳しくは、財政係へ。

このような中でも、市民サービスの維持・向上のため、そして、地域特性を活かした事業を積極的に展開し、魅力にあふれたまちづくりを実現するため、将来を見据えた計画的な財政運営に努めます。

5年度は、物価高騰対策に関する事業に加え、学校給食共同調理場や市民総合交流拠点施設の整備工事を予定しています。限られた財源でさまざまな財政需要に対応するため、基金の取り崩しと特例地方債の借り入れにより、15億7000万円の財源不足を補わなければなりません。

4年度は、新型コロナウイルス感染症対策や物価高騰対策に関する取り組みを実施しました。

行財政の健全化に向けて

特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に、その運営や経理を明確にするため、一般会計とは別に収支を管理する会計です。各会計の歳入・歳出予算の執行状況は表3のとおりです。

図1 4年度一般会計 予算の執行状況

歳入		歳出	
予算現額 535億3278万円 収入済額 508億5882万円 (収入率 95.0%)		予算現額 535億3278万円 支出済額 456億7108万円 (執行率 85.3%)	
市税 (市民税・固定資産税など)		総務費 (徴税、住民登録など)	
199億7860万円 203億733万円 (101.6%)		66億1747万円 55億5149万円 (83.9%)	
地方消費税交付金 (地方消費税収入の配分金)		民生費 (福祉の充実など)	
25億7000万円 27億9555万円 (108.8%)		264億8520万円 233億354万円 (88.0%)	
地方交付税 (普通交付税・特別交付税)		衛生費 (健康、ごみ処理など)	
6000万円 1億1986万円 (199.8%)		63億4105万円 45億6875万円 (72.1%)	
使用料及び手数料 (施設使用料など)		土木費 (道路、公園の整備など)	
8億7338万円 7億8887万円 (90.3%)		30億1702万円 24億5427万円 (81.3%)	
国庫支出金 (国からの補助金など)		消防費 (災害対策など)	
137億1725万円 121億3442万円 (88.5%)		14億5798万円 13億7556万円 (94.3%)	
都支出金 (都からの補助金など)		教育費 (学校、スポーツ、文化など)	
74億5975万円 71億6844万円 (96.1%)		61億9377万円 52億2544万円 (84.4%)	
市債 (国・都などからの借金)		公債費 (借金の返済)	
5億8400万円 3億500万円 (52.2%)		22億4366万円 22億3946万円 (99.8%)	
その他 (繰越金、繰入金など)		その他 (議会、農業、商工など)	
82億8980万円 72億3935万円 (87.3%)		11億7663万円 9億5257万円 (81.0%)	

※前年度からの繰越財源(3億9788万円)を含みます。

※前年度からの繰越事業費(3億9788万円)を含みます。